



きずな 4/18 (土) お疲れ様会

あゆみの家

No. 147号

AIと愛

AIは、Artificial Intelligence の略で、日本語では人口知能と訳されています。四年ほど前、ChatGPT-3 という AI が誕生しました。その AI は、長い文章を要約したり、小説を書いたり、翻訳をしたり、いままで、私たちが何日もかけてやっていたことを、数分でやってのけてしまう高性能なものでした。その性能のすばらしさに、数ヶ月で世界で数億人の人が利用するようになりました。また、2023年に発表された GPT-4 は、司法試験の試験問題を解くことができ、司法試験を軽々とパスすることができるといいます。本当に驚きです。その後も、新しい AI が、どんどん開発されています。今後、事務的仕事の大半を、AI が担っていくことになると思われます。

あゆみの家では、障害のある利用者さんに対し、さまざまな支援を行っています。これらの支援は、将来的に AI でできるようになるのでしょうか。すでに、話し相手をする AI ロボットは登場しています。十年後には、利用者につき添って外出する、付き添いロボットが開発されるかもしれません。車いすへの移乗や、入浴時の介護などを、補助的に支援してくれる介護ロボットもできるかもしれません。これらの、AI ロボットが実現すると、支援をする職員に時間の余裕が生まれ、いままで十分にできなかった個別的な支援もできるようになるかもしれません。また、人材不足の解消にもつながるかもしれません。AI の今後の発展が、障がいのある利用者さんへの良い支援につながるよう、わたしたちも、AI の活用について、勉強していかなければなりません。

AI が活用できる部分は、AI をうまく活用し、人間にしかできない利用者さんとのコミュニケーション、利用者に寄り添った愛のある支援を行い、利用者の皆さんの、幸せにつながっていくよう、よりよい支援を進めていきたいと思います。

(この文章は、AI に AI について質問し、教えてもらって、作成しました。)

相談支援から学ぶこと

ゆう 相談支援専門員 可児 実香

ゆうでは、みなさんが安心して障害福祉サービスを利用できるよう計画相談を行っています。また計画相談の他に、委託相談も行っています。委託相談とは、本来は行政窓口で行う住民の方々からのご相談を市町から委託を受けて行う相談のことです。これから福祉サービスを利用したいと思われている方や、生活面での困りごとがある方、ご家族との関係に悩んでいるなど、相談の内容は多岐に渡ります。ここで、私が担当したご相談を少しご紹介したいと思います。

一つ目は、ずっと家で過ごしていたけど、働いてみてもいいかなと思われた方のご相談です。ご本人の気持ちが少し前向きになり、福祉サービスを利用してみたいというご家族からの相談でした。初めにお母さまと面談を行い、時折涙を流しながら辛さやうまくいかない歯がゆさをたくさん話してくださいました。そして、誰かにゆっくり話を聞いてもらえたこと、ゆうとご縁ができたことがとてもうれしいと教えてくださいました。お母さまの言葉から、すぐに解決することは難しくても、まずはゆっくり話ができる機会を持つことが大事なのだと感じました。その後、お母さまからご本人に相談支援専門員のことを話していただき、ご本人にも会うことができました。そこでは、ご本人が信頼している人から紹介してもらおうことも大事だと感じました。残念ながらサービスにはつながりませんが、今後とも関わっていただけることをお母さまに伝えました。このご相談

は、主にお母さまとの関わりでしたが、期間を定めず、ご本人やご家族がつながってほしいと思われる間はずっと関わっていただけることが相談のよいところだと感じています。

二つ目は、難病を抱えている方のご相談です。面談の際に、短時間で体に負担のかからない範囲で働けるとうれしい、内職ではなく、外に出て人と関わりたいと話されました。継続して働くことの不安も抱えておられたので、ボランティアから始めてみることを提案し、地域の事業所に相談をしてみました。前向きに検討していただけるといって返答に二人で大喜びし、更に検討の結果、このような出合いを大切にしたいということからアルバイトという形で雇っていただけたことになりました。ご本人の人柄なども評価につながったのだと思います。私一人の関わりでは到底たどり着くことができなかったとてもよい結果でした。話を聞いていただき、次につなげていただき、更に前向きに検討していただいた関係機関のみなさまに本当に感謝です。

相談支援専門員はこのように、日々奮闘しています。でも、イレギュラーな相談が重なる私自身に余裕がなくなってしまうことがあります。そんな時は支援もうまくいきません。そうなるってしまわないよう、たくさんの方とのつながりを大切にしながら一人で抱え込まないようにしていきたいと思っています。これからも、利用者の方と一緒に悩んだり、笑ったり、時には泣いたりしながら、心に寄り添った支援ができるよう、自分自身の心も磨いていきたいと思えます。

心を込めた紙すきカレンダーを地域へ

林町デイセンター 生活支援員 佐藤 祐子

林町デイセンターでは、日々の活動の一つとして紙すき作業に取り組んでいます。牛乳パックをちぎるところから始まり、繊維をめくる、ミキサーで細かく粉碎する、型に流す、アイロンで仕上げるといった工程を経て、一つひとつ丁寧に紙すきを作り上げていきます。工程ごとに役割を分担しながら取り組む事で、利用者の皆さんそれぞれが自分の得意な作業を活かし、協力して作品を完成させていきます。

昨年度度は初めて「栗マルシェ」のイベントに参加し、利用者の皆さんが制作した紙すきカレンダーの販売を行いました。当日は悪天候の中でしたが、多くの来場者で賑わい、カレンダーを手にとって頂いたり、多くの方が購入して下さい、利用者の皆さんにとって大きな励みとなる機会となりました。

なお、紙すきカレンダーだけでなく、押し花をあしらった作品や、紙すきで作った薔薇も販売しました。素材や配置に工夫を凝らし、それぞれ違った表情を持つ作品に仕上がっています。他にもレターセットや名刺用の紙すきなど、今後はこれらの作品についても、販売や展示の機会を広げていきたいと考えています。

また、日頃の散歩の活動の中で、顔なじみとなった地域の方へ紙すきの作品をプレゼントした際には、大変喜んで頂く事が出来ました。こうした交流を通じて、地域との繋がりの大切さを改めて感じています。

これまでには、紙すきの紙をちぎり、風船に貼り付け、型を

取ってランタンを制作したり、母の日にはカーネーションを紙すきで作成し、保護者の方へプレゼントするなど、季節や行事に合わせた創作活動にも取り組んできました。紙すきの可能性は広く、今後も様々な形で活用していきたいと考えています。今後このようなイベントへの参加や、販売活動を通じて、地域の方々に林町デイセンターの取り組みや紙すき作品の魅力を知って頂けるよう努めて参ります。



紙すき作業



紙すき作品



栗マルシェ出店



お客様との関わりの中で感じる喜びや学び

ぐっどらんど 生活支援員 小林 愛加

ぐっどらんどは大垣市綾野地区に新しくお店をかまえて今年で六年目になります。日中活動の中で食品製造に携わっており、クッキーや工芸品の販売をしています。甘いにおいの広がる店内で焼き菓子をはじめ季節に応じた商品を作っています。

お店での販売以外でも、毎月養老町役場や垂井町役場にクッキーを持って販売に行かせていただくことも私たちの楽しみであり、大切な仕事のひとつです。販売は宣伝するところから始まります。チラシを持って「お願いします！」「クッキーを販売しています！」と役場の各部署を回ります。もちろん、クッキーがたくさん売れることは嬉しい事ですが、まずは自分たちのことを知ってもらうことを大切にチラシ配りを行っています。私たちの施設や活動を知ってもらい、興味を持ってくださる人も増え、「どこにある施設なの？」と声をかけてくださる方や、「今日はわらびもちもないの？」と商品を楽しみにしてくださる方、前に買ったら美味しかったからとお店にも足を運んでくださる方がみえて喜びを感じる事ばかりです。

販売では直接お客様と関わり、商品の陳列やお金の受け渡しなど様々な事を経験します。初めは緊張して、商品のカゴを渡すタイミングも分からなかった利用者も、経験を重ねて、自分から「これがおススメです！」と伝えたり、袋に入れた商品を両手でお渡しすることができたりと細かいところに気を付けながら接客することができるようになってきました。堂々と接客する姿に毎回私も驚かされ、学ぶ事も多いです。

地域交流としても、近隣の綾里小学校や綾里幼稚園とお買い物体験や交流会を行い、交流を深めています。障がいについて知ってもらうことや、普段関わる事の少ない園児との交流は楽しく、貴重な時間です。そういった地域との交流を重ね、今では店の前を通る小学生と元気に挨拶を交わしたり、夕方

には百円を握りしめて買い物をしてくれるかわいいお客様もたくさんいます。

夏には綾里地区センターで行われる夏祭りにも毎年参加させていただき、販売の機会をいただいています。夏祭りには地域の方を中心に多くの人でにぎわいます。行事に参加できているのも、近隣との関わりや交流、販売を通して少しずつ地域とのつながりが濃くなってきているのだと感じています。

今は顔を合わせなくてもクリックひとつで簡単に物が買えてしまう時代です。そんな時代だからこそ、顔を合わせて販売できる機会は大切だと思います。自分の作った物を手に取ってもらえる喜びは対面でしか味わうことができません。そういった経験一つ一つが大きな自信や、やりがいに繋がっているのだと改めて感じています。

これからもぐっどらんどが地域の方に愛される存在であるよう努めていきたいと思っています。



出来事ピックアップ



2/7 (土) 3事業所交流会
【デイセンターあゆみの家・ぐっどらんど・林町デイセンター】



2/8(日)お笑いものまねショー
【きずな】



3/12 (木)昼食づくり
【林町デイセンター】



3/13 (金)おつかれさま会
【ぐっどらんど】



3/13 (金)おつかれさま会
【デイセンターあゆみの家】



3/14 (土) おつかれさま会
【第二あゆみの家】

最近のできごと (2/1~3/31)

〈デイセンターあゆみの家〉

- 2/ 7(土) デイセンターあゆみの家、ぐっどらんど、
林町デイセンター 3事業所交流会
3/13(金) お疲れ様会 (エクシブ琵琶湖)

〈ぐっどらんど〉

- 2/13(金) 外食 サイゼリア (ホープG)
2/25(水) 外食 ビッグボーイ (グッディG)
2/27(金) 外食 アクアウオーク (ドリームG)
3/13(金) お疲れ様会

〈林町デイセンター〉

- 2/17(火) ポップコーンG 喫茶外出(マクドナルド)
ワンピースG 喫茶外出(ロウエレーヌ)
2/20(金) ポップコーンG 喫茶外出(コメダ珈琲)
3/12(木) ポップコーンG お楽しみ会(うどん作り)
ワンピースG お楽しみ会

〈第二あゆみの家〉

- 2/ 5(木) なのはなG 喫茶外出(まんじゅドーム)
2/17(火) いちょうG お疲れ様会
2/19(木) ふじG 喫茶外出(マクドナルド)
2/27(金) もみじG お疲れ様会
3/14(土) 第二あゆみの家お疲れ様会

〈きずな〉

- 2/ 8(日) お笑いものまねショー鑑賞
3/14(土) 料理教室
3/31(火) お楽しみ食事会

〈西濃障がい者就業・生活支援センター〉

- 2/15(日) 第3回、第4回 登録者交流会
(大垣市青年の家講堂)
3/13(金) ピアノ活動(大垣がしほのりんどう)

ボランティア (2/1~4/30)

- 2/21(土) BVD (音楽グループ) 演奏会 (第二あゆみの家)
2/21(土) 個人ボランティア ダンス (デイセンターあゆみの家)
2/10(火)、3/17(火)、4/14(火) 個人ボランティア ダンス
(林町デイセンター)
3/ 3(火) レインボース (音楽ボランティア) 2名 (林町デイセンター)

ふれあい交流 (2/1~4/30)

- 2/25(水) 綾里こども園交流会 (ぐっどらんど)

行事予定

- 7/25(土) 合同職員研修会 (法人全体)

「創立記念礼拝行事」 4/3 (金)



礼拝後、各事業所に
夢を語っていただきました。

編集後記

初めて行った海外はフィリピン、19歳の春のことでした。そこからフィリピンとのつながりは今でも緩やかに続いています。自分の思いを英語で伝えることができなくて泣けてくる私を、明るい気質と温かい愛情で包んでくれたフィリピンの皆さんに心から感謝しています。フィリピンからあゆみの家を選んでスタッフが来てくれました。日本で働くために一生懸命学んでこられた皆さんを大きな愛情をもって受け入れていきたいと思います。(神崎あ)

編集：社会福祉法人あゆみの家
〒503-2123 岐阜県不破郡垂井町栗原2066-2
Tel 0584-22-4333 (代) FAX 0584-22-4344

URL <https://ayumi-ie.com/>

E-mail ay464h@he.mirai.ne.jp



グループホームのご案内

●めぐみホーム
不破郡垂井町表佐

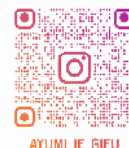
●東神田ホーム
不破郡垂井町東神田

●別庄ホーム
養老郡養老町橋爪

●橋爪ホーム
養老郡養老町橋爪

●表佐ホーム
不破郡垂井町表佐

●あいかわホーム
不破郡垂井町



公式 Instagram